

# パーキンソン症候群

Parkinson's syndrome

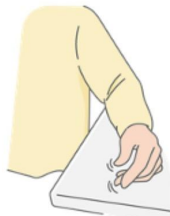
1G 北澤 心美 黒沢 李音 田中 優希 □井 みらい

## <病態生理>

無動、振戦、筋強剛などの **パーキンソン症状** をきたす疾患の総称。



姿勢反射障害



振戦 (ふるえ)



固縮 (関節が固くなる)



寡動 (動作が遅くなる)



便秘



立ちくらみ



抑うつ



日中過眠



痛み

## <原因>

パーキンソン病自体が原因となることが最も多く、全体の**7～8割程度**を占める。

そのほか...

大脳基底核の脳梗塞や脳出血による**脳血管性**パーキンソニズムや、抗精神病薬・胃十二指腸潰瘍の治療薬などの副作用による**薬剤性**パーキンソニズムが多い。

## パーキンソン症候群の原因

- パーキンソン病
- 脳血管性パーキンソニズム：大脳基底核などの多発性脳梗塞
- 薬剤性パーキンソニズム：向精神薬(クロルプロマジン, ハロペリドール), 抗うつ薬(イミプラミン塩酸塩), 消化性潰瘍治療薬(スルピリド), 降圧薬(メチルドパ水和物), 制吐薬(メトクロプラミド), カルシウム拮抗薬など
- 中毒性パーキンソニズム：一酸化炭素中毒, マンガン中毒など
- 脳炎後パーキンソニズム：日本脳炎など
- 脳腫瘍によるパーキンソニズム
- 外傷性パーキンソニズム
- 変性疾患：進行性核上性麻痺, 大脳皮質基底核変性症, 多系統萎縮症, ハンチントン病など
- 代謝疾患：ウィルソン病など

# 症状

- ・ **静止時振戦、無動、筋強剛、姿勢反射障害** の4大運動症状を特徴とする。
- ・ 進行すると、**小股・突進歩行、自律神経障害**（便秘・頻尿・起立性低血圧）、**不眠、うつ症状**なども伴う
- ・ **転倒**などの症状が早期から見られる症例や、**失行・失認**などの皮質症状や錐体路症状が見られる（錐体路症状は麻痺や腱反射亢進を指す。）



# 診断方法

- ・4大徴候のうち2つ以上が当てはまっているか
- ・MRI・CT→脳梗塞、腫瘍、水頭症などを見る
- ・DATスキャン→ドパミン神経が減っているか確認
- ・血液検査→薬剤性や代謝異常の確認

# 検査所見

一般的には**振戦**、**筋固縮**、**寡動・無動**、**姿勢反射障害**などの4大徴候のうち2つ以上あれば診断は容易になる。

脳炎後やCO中毒、脳血管障害、向精神薬によっても同様の症状が出現する。

・MRI、CT→正常が多い、異常:二次性や非典型を疑う

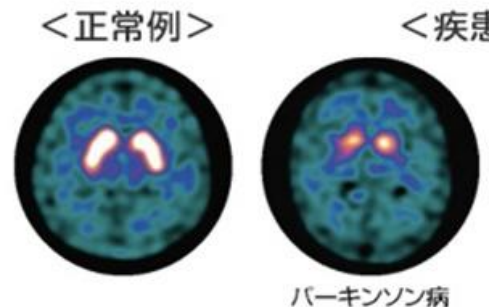
・血液検査→特異的異常なし

・DATスキャン→低下あり:パーキンソン病、多系統萎縮症、進行性核上性麻痺

正常:薬剤性、心因性

・L-DOPA試験→改善あり:パーキンソン病

改善乏しい:非典型(MSA・PSPなど)



# 治療方法

レボドパを含めた各種の抗パーキンソン病薬を用いるが、パーキンソン病に比較すると効果は乏しい。

- ・**脳血管性パーキンソニズム** では脳梗塞の再発予防が必要になる
- ・**薬剤性パーキンソニズム** では原因となる薬剤を中止し、それが不可能な場合は、副作用であるパーキンソン症状を起こしにくい薬剤への変更を行う



## 予後

パーキンソン症候群は、パーキンソン病と比べ**進行が早い**ことが多いことや、パーキンソン病で使われる**薬が効きにくい**場合が多く、症状のコントロールが難しいため、早期に介助や介護が必要になるケースがある。

生命予後は病型によって異なるが、  
**5年～10年程度**と厳しくなる傾向がある。



死に至る主な3つのルート

**呼吸器合併症**  
**寝たきりによる衰弱**  
**転倒による外傷・骨折**



## 1.呼吸器合併症(誤嚥性肺炎)

早い段階から飲み込みの筋力が低下する誤嚥障害が起こる。食べ物や唾液が肺に入り、細菌が繁殖して肺炎を繰り返す。

## 2.寝たきりによる衰弱(廃用症候群)

パーキンソン病よりも進行が早く、数年で自力歩行が困難になるケースがある。



## 3.転倒による外傷・骨折

姿勢反射障害(バランスを崩す症状)が強くなるため、激しく転倒しやすい。



# クイズ

Q1.パーキンソン症候群の原因として、当てはまらないものはどれでしょうか？

- 1.脳梗塞などの脳血管の病気
- 2.神経科などで処方される薬の副作用
- 3.脳内のドーパミン神経が自然に減ってしまうこと
- 4.頭部の外傷

Q2.パーキンソン症候群の特徴として、正しいものはどれでしょうか？

- 1.パーキンソン病の薬(レボドパなど)が劇的に効く
- 2.原因となっている元の病気や薬を突き止めることが重要
- 3.症状は必ず左右どちらか片方から始まる
- 4.一生治ることはなく、どんどん進行するだけである